

第 4 回 キセラ川西市民プログラムワークショップを開催しました

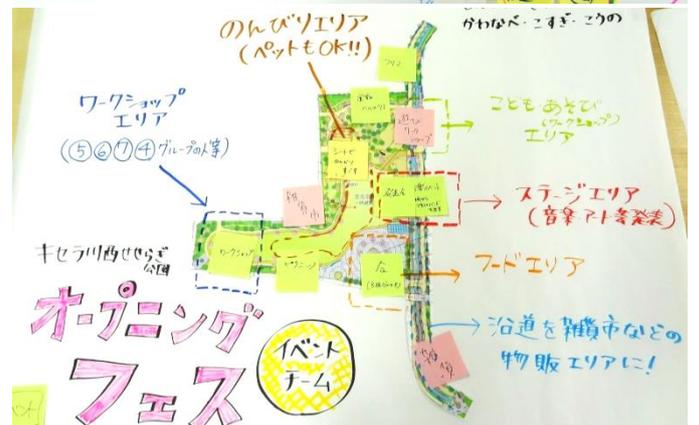
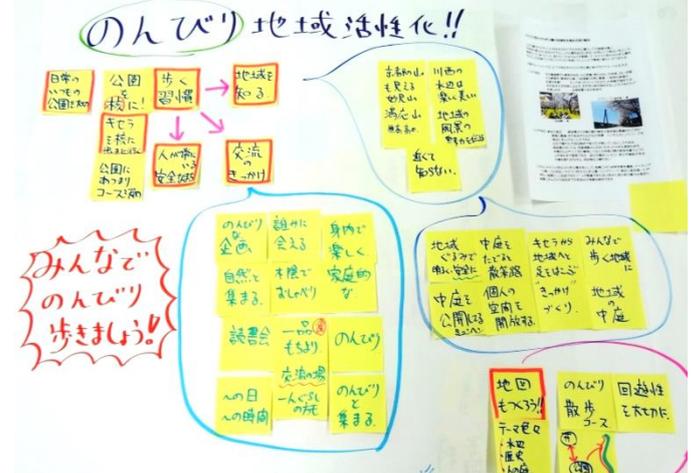


チームに分かれ企画づくりに挑戦！

キセラ川西せせらぎ公園で「ワクワクすること」を「やっちゃおう!!」をコンセプトに、これまで3回のワークショップを開催してきました。7月9日(土)に開催した第4回目のワークショップでは、「やりたいことのジャンル別」グループに分かれ、ワークショップに参加しているみなさんの力を合わせると、どんなことがキセラ川西せせらぎ公園でできそうか、具体的な活動の話し合いをスタートさせました。

ワークショップの結果、今回は防災や地域の安全を考えられた「のんびり地域活性化」チームや、来年の公園オープンの時期に色んなジャンルのイベントが集まった「オープニングフェス」をしよう!というチームや、「子どもがおもいきり遊べる公園」をつくりたい、「運営支援・コンシェルジュ」の活動について考えたいといった4つのチームができました。

今回のワークショップでは、チームをつくるのが大きな目的でしたが、具体的な活動内容まで話が発展するチームもあり、これからのチーム活動の発展がとても楽しみです。



▲2つのチームのワーキングシート。
 (上)防災と地域の安全、健康の視点を持ったウォーキングコースを検討している「のんびり地域活性化」チーム (下)様々なイベントの開催をしたいと思っている方たちが集まったイベントチーム

工事のお知らせ

① 道路整備工事(区画道路No.1、No.2)工事概要

(1) 工事期間:平成28年8月上旬から平成28年12月末

(作業時間:AM9:00~PM5:00)

※日曜、祝日は原則として休工とします

(2) 工事概要:区画道路築造工事

(3) 施工業者:株式会社池下組

(4) 現場代理人:中井 正明(072-757-0818)

(5) 担当:地区整備課 岡田

(6) 電話:072-740-1207



今回着工箇所位置図

- 今回着工工区
- 工事完了または着工済み工区

② 整地工事(第11-1工区)工事概要

(1) 工事期間:平成28年8月中旬から平成28年11月末(予定)

(作業時間:AM9:00~PM5:00)

※日曜、祝日は原則として休工とします

(2) 工事概要:整地工事 A=4,800 m²

土壌汚染対策工事 V=220 m³

(3) 施工業者:大興建設株式会社(072-758-0244)

(4) 現場代理人:多淵 秀樹

(5) 担当:地区整備課 清水

(6) 電話:072-740-1207



セミの仲間？アメンボ

梅雨が明け夏休みに入るとセミが鳴き出すというのは、昔の話。今では、梅雨に入ったとたんにセミが鳴き出すようです。よく見られるのは、アブラゼミ、クマゼミ、ニイニゼミ、ミンミンゼミ、ヒグラシ、ツクツクボウシ。普通すぎて、あまり綺麗でなく、暑苦しくジージー鳴くアブラゼミも最近では珍しくなってきました。今はうるさいクマゼミが中心になってきたようです。



分類では、セミは半翅目(はんしよく)またはカメムシ目といわれます。つまりあのいやなおいを出すカメムシの仲間です。陸生では、ほかにアブラムシやサシガメ、ヨコバイなどたくさん種類があります。水辺に生息するカメムシの仲間は、タイコウチ、ミズカマキリ、コオイムシ、マツモムシ、タガメなどです。そして、水の上をすいすい走り回るアメンボも同じカメムシの仲間です。どれも共通しているのは、先のとがった針状口をエサや植物に刺して栄養分をとることです。また、独特のにおいを出すものも多くなります。



アブラゼミ



クマゼミ



ニイニゼミ



クマゼミ(オス)の腹弁
鳴くための器官で、腹部は響かせるためにほとんど空っぽです。

大きさや模様、鳴き声は違っても、どれも同じような生活をしているように見えるセミですが、成虫が樹液を吸う木には好みがあり、幼虫の好み環境も違うようです。よく鳴いている樹種や抜け殻についている泥の様子などからもそれが考察できそうです。

土の中での幼虫の時代が長いだけに生息場所は幼虫好みになるようです。

キセラ川西では、これから植物が植えられ、近くからもセミが飛んできて卵を産み、何年かすると土から出て成虫になります。

しかし、移植される植木の根鉢の土とともに遠くから運ばれてきた幼虫も夏には出てくる可能性もあります。



アメンボ (ナミアメンボ)



オオアメンボ



シマアメンボ



水中に投棄された糸巻きに産卵されたアメンボの卵と孵化したの幼虫(親と同じ形です)

アメンボのなかまは半水棲カメムシといわれて、一生水面で生活していますが、産卵のときだけ水中に潜ります。アメンボの足には細かい毛が生えていて、表面張力で水をはじいて浮いています。長い中脚で水面を蹴って移動します。前脚で水面の振動を感じてエサを見つけます。したがって水面にゴミや油膜や洗剤がないこと、足先を掃除するためにつかまる草などがあることが必要です。どこでもいるようなアメンボですが、水辺環境の指標にもなります。アメンボは飴(あめ)のようなにおいがして、からだは棒のように細長いので、そう呼ばれません。でも雨が降っていても元気で、水面に小雨のときのようなきれいな波紋を描くからという方がなんとなく情緒的だと思います。シマアメンボは、おにぎりのような小さな体で背面に縞模様があります。ナミアメンボと異なり、おもに流れのある溪流などに棲んでいます。北小前水路でも見つけられましたので、キセラのせせらぎにも来ることでしょう。

そのほかによく見られるカメムシ目の水生昆虫



タイコウチ



ミズカマキリ



コオイムシ

どれも肉食性昆虫なので、生息するには、水質だけでなく水辺の植物や動物の豊かな生物多様性環境が必要です。

選挙の投票について

- 平成28年7月12日(火)
～7月21日(木)：立候補及び立候補推薦の受付
- 平成28年7月22日(金)：候補者の氏名・住所及び候補者の数が、選挙すべき委員の数を超えないため、投票を行わない旨の公告

今後の予定

- 平成28年8月8日(月)：当選人の公告
- なお、当選人については、次号で皆様にご紹介する予定です。

お知らせ



第120回 川西市中央北地区まちづくり協議会 計画検討委員会の開催お知らせ（協議会員どなたでも参加できます）

日時：平成28年8月2日(火) 17:30～ 場所：市役所2階202号会議室

第25回 まちづくり協議会 町名変更検討部会 の開催お知らせ

日時：平成28年7月27日(水) 18:00～ 場所：市役所2階202号会議室

建築物の建築などを行う場合、土地区画整理法第76条許可申請・地区計画の届出が必要です。

また、「中央北まちづくり指針」や「低炭素まちづくり計画」等に基づいた建築計画であるかを確認するため、事前に「建築行為等の手続条例」に基づく協議が必要です。（詳しくは、地区整備課 072-740-1207へ）

権利者が死亡され名義変更されていない方や、権利の移動があった場合、住所氏名の変更があった場合はご連絡を。

上記の申告等や「阪神間都市計画事業中央北地区特定土地区画整理事業」について質問などがございましたらご連絡ください。

川西市 キセラ川西整備部 キセラ川西推進室 地区推進課

TEL：072-740-1203 FAX：072-740-1330

日時：午前9時～午後5時半（ただし、土曜・日曜・祝日は除きます）

HP：<http://www.city.kawanishi.hyogo.jp/machi/cyuoukitaseibi/index.html>